

新家 茂教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1948年5月1日 愛知県に生まれる。
- 1971年3月 名古屋大学工学部金属工学科自動制御専攻卒業
- 1971年4月 株式会社淀川製鋼所勤務
- 1973年4月 名古屋大学大学院情報工学研究科修士課程入学
- 1975年3月 名古屋大学大学院情報工学研究科修士課程修了
- 1975年4月 名古屋大学大学院情報工学研究科博士課程入学
- 1978年3月 名古屋大学大学院情報工学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1978年4月 労働福祉事業団労災リハビリテーション工学センター勤務
- 1981年3月 工学博士（名古屋大学）
- 1986年4月 岐阜経済大学経済学部講師
- 1991年4月 岐阜経済大学経済学部助教授
- 1994年4月 岐阜経済大学経営学部助教授（1994年経営学部開設により移籍）
- 1999年4月 岐阜経済大学経営学部教授
- 2000年4月 岐阜経済大学経済学部教授（経済学部コミュニティ福祉政策学科開設により移籍）
- 2001年12月 図書館長（～2003年11月）
- 2010年8月 図書館長（～2011年11月）
- 2013年4月 岐阜経済大学経済学部特別任用教授
- 2014年3月 岐阜経済大学定年退職

《所属学会》

電子情報通信学会

著作目録

《著 書》

『文化系学生のためのBASIC入門』（共著）

朝倉書店 1992年

- 『Visual Basic による情報処理』(共著) 共立出版 1999 年
『よくわかる情報リテラシー入門』(共著) 共立出版 2001 年

《研究論文》

- 「連続時間線形表現系の実現理論」(共著)
計測自動制御学会, 第 8 回制御理論シンポジウム 1979 年 5 月
- 「連続時間線形表現系とアフィン力学系の関係について」(共著)
計測自動制御学会, 第 9 回制御理論シンポジウム 1980 年 5 月
- 「マイクロプロセッサ制御による介助用自動搬送車について」(共著)
日本電子工業振興協会, 第 2 回マイクロコンピュータ応用国際コンファレンス 1980 年 7 月
- 「連続時間アフィン力学系の実現理論」(共著)
『計測自動制御学会論文集』Vol.17-1 1981 年 2 月
- 「離散時間線形表現系とアフィン力学系の関係」(共著)
『計測自動制御学会論文集』Vol.17-3 1981 年 6 月
- 「図形実現理論の基礎」(共著) 『電子通信学会論文誌』Vol. J64-A, No.5 1981 年 5 月
- 「連続時間線形表現系の実現理論」(共著)
『電子通信学会論文誌』Vol. J64-A, No.12 1981 年 12 月
- 「A data smoothing method using spline function and its application in motion analysis」(共著)
International Series on Biomechanics, Vol.4B 1982 年
- 「線形系とユークリッド型標準形と低次元化法」(共著)
計測自動制御学会, 第 11 回制御理論シンポジウム 1982 年 5 月
- 「任意に配置された PSD カメラによる 3 次元計測法」(共著)
バイオメカニズム学会, 第 8 回バイオメカニズムシンポジウム 1983 年 7 月
- 「過渡歩行の特徴抽出」(共著)
バイオメカニズム学会, 第 5 回バイオメカニズム学術講演会 1984 年 11 月
- 「身体回旋運動から見た歩行分析」(共著) 『整形外科バイオメカニクス』Vol.7 1986 年 8 月
- 「床反力ベクトルから見た力学的歩行分析法」(共著) 電子通信学会総合全国大会 1986 年 9 月
- 「スティックピクチャーと床反力ベクトルから見た歩行分析法」(共著)
『整形外科バイオメカニクス』Vol.8 1987 年 8 月
- 「A new control method for motor vehicles for the severely handicapped」(共著)
Robotica, Vol.6 1988 年
- 「義足にトルク吸収装置をつけた場合の歩行における身体回旋運動の分析」(共著)
『整形外科バイオメカニクス』Vol.10 1989 年 8 月
- 「股義足にトルク吸収装置を取り付けた場合の歩行への影響」(共著)
『整形外科バイオメカニクス』Vol.11 1990 年 10 月

- 「最小オートマタ実現定理を応用した歩行計測ソフトウェアシステムの開発について」(共著)
『電子情報通信学会論文誌』Vol. J74-D-II, No.5 1991年5月
- 「股義足歩行における義足振り出しのための運動について」(共著)
『整形外科バイオメカニクス』Vol.12 1991年10月
- 「重心動揺計の制度向上の試み——線形モデルを用いて——」(共著)
『日本機械学会論文集』Vol.57-543-C 1991年11月
- 「床反力計を用いた身体動揺計測における誤差の検討と精度の改善」(共著)
日本ME学会『医用電子と生体工学』Vol.29-4 1991年12月
- 「An investigation of the accuracy in the body center of pressure on a standing posture with a force plate」(共著) *Frontiers of Medical and Engineering*, Vol.5, No.3 1993年
- 「Realization of continuous time pseudo linear systems」(共著)
IEEE International Symposium on Circuits and Systems, Vol.3 1996年
- 「Realizaion theory of continuous time finite linear systems」(共著)
IMACS 2nd International Conference on Circuits, Systems and Computers 1998年
- 「俯瞰可能迷路の代数学的 (Semi-Ring) による数学的モデル化と成功経路導出アルゴリズム」
(共著) 『電子情報通信学会論文誌』Vol. J84-A, No.4 2001年4月
- 「離散時間・有限次元アフィン力学系の実現理論」(共著)
『電子情報通信学会論文誌』Vol. J85-A, No.9, pp.919–929 2002年9月
- 「離散時間アフィン力学系の部分実現理論」(共著)
『電子情報通信学会論文誌』Vol. J87-A, No.3, pp.345–354 2004年3月
- 「Approximately Partial Realizations of Affine Dynamical Systems」(共著)
International Conference DIFFERENTIAL EQUATIONS and TOPOLOGY, Steklov Mathematical Institute of the Russian Academy of Sciences, Lomonosov Moscow State University
2008年6月